

第32回全国M式水耕技術研究大会(名古屋)開催のお知らせ！！

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏は、今までに無い大変暑い日が続いております。人や植物にとっても試練の夏といっても過言ではなかったかとおもいますが、それにもめげず、皆様には元気でご活躍のこととお喜びいたしております。

さて、今回のM式たよりは、久しぶりに会長村井邦彦に登場してもらい、「全国M式水耕技術研究大会」を実りある会にするためにその思いを語ってもらいます。

なお、正式な案内状は近日中にお送り致します

「元気ですか?」「今やっている仕事は好きですか?」「前向きなライフですか?」私は、いつも「元気!」「前向き!」「仕事が楽しくてしょうがない!」M式水耕研究所会長の村井邦彦です。いつもご愛顧まことにありがとうございます。

久々にM式に戻り、「再び青春を!そんな気持ちで時代を読む経営のあり方について、皆様と存分に話し合いたい。」と水谷研究会会長とも相談の上、地元名古屋で全国M式水耕研究大会をやることといたしました。プラントメーカーと生産者がバラバラの気持ちではいけません。立場はそれぞれちがっても、「夢」とか「希望」をもって、つまり同じ目標に向かっ

て進む、そんな経営学が重要だと思えます。

今、目標は、“活菜生活”にあります。そのポイントは、人が皆、元気に生きるライフスタイルが出来ることにあります。時代を読むとそのキーワードは、安全、安心、健康、環境、発展循環型リサイクルです。40年の歴史のM式が一番大きな流れを変え、生命を育てる水耕野菜のブランド化、高価値化の展開が図れるときが来たと確信しました。そのために私は、見せる農業、つまり見られる、関心を持たれる農業であることが重要であると考えています。

「見せる」ということは「店」であるというマーケティング意識を持つ必要があります。そこに、省力、省工

ネ、省コストという課題が出てきます。その解決方法の一つとして消費者の参入、参加を考えるのです。セルフファーム、キッチンファームハーベスト、直売、プライベートガーデンなどがそれらの例です。今、素晴らしい農業へ変わる方向性が見えてきたと思っています。楽しい農業、もうかる農業が出来るM式にするため、論より証拠で私がやって見せたい!そんな心構えとやる気でいます。

元気なM式を皆で考え、話し合う全国M水耕技術研究大会にしようではありませんか!ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

第32回全国M式水耕技術研究大会(概要)

日時:平成19年10月6日(土)~7日(日)午後2時

場所:名鉄ニューグランドホテル

名古屋市中村区椿町6番9号 052-452-5511

テーマ:水耕野菜の未来と販売戦略

日程及び内容

<1日目>

表彰式・表彰者事例発表

講演「ブーケレタスの販売船楽(仮)」

有限会社 葉っぱや 代表取締役 野本一弘氏

パネルディスカッション

プレゼンテーション「活菜”を売りこめ」

M式水耕研究所 会長 村井邦彦

パネラー (株)ニッシントーア 飯田高明氏

(株)デリカフーズ 舘本氏

生産者 吉川靖雄氏

(株)アサヒ種苗 菅原眞治氏

懇親会

<2日目>

見学会

水谷俊樹農園

なばなの里ベコニアガーデン(空中菜園)

M式水耕研究所農場

研究大会参加費

1人35,000円

(ご夫婦参加の場合 2人 60,000円)